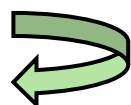
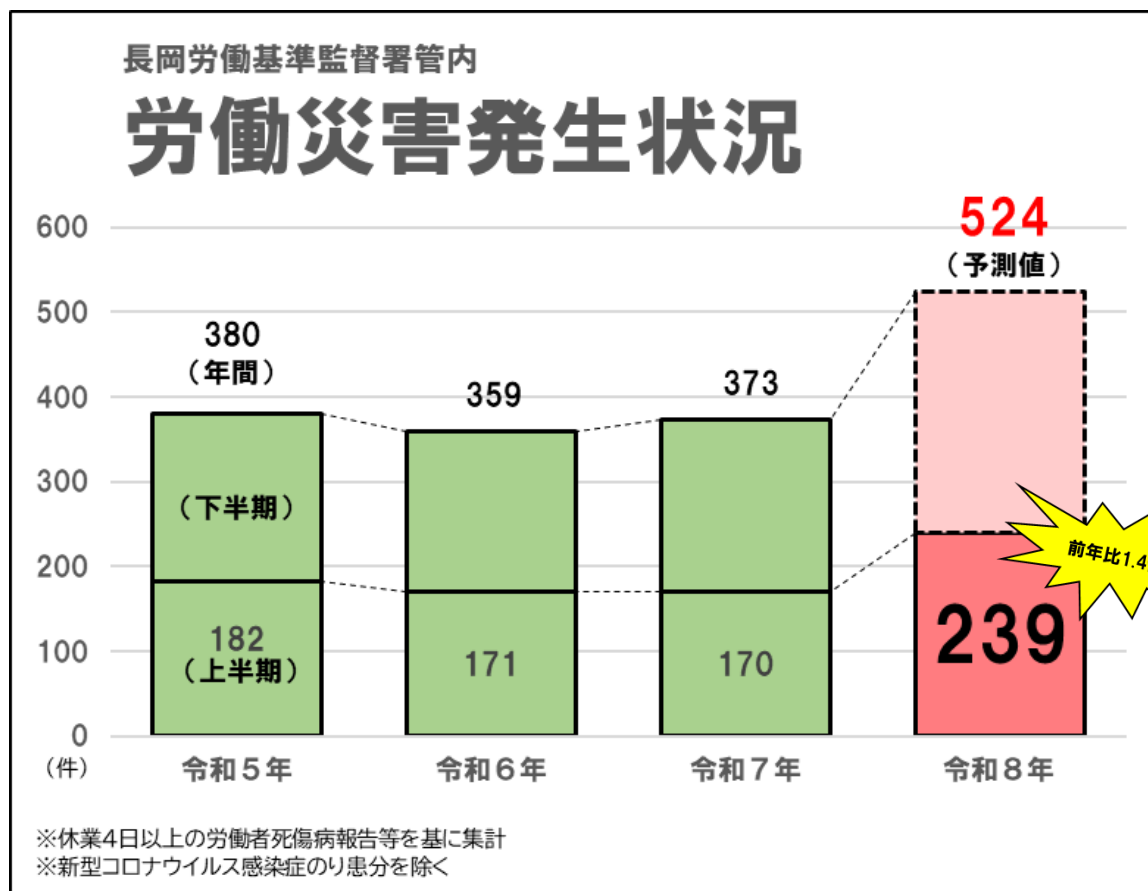


労働災害が急増しています

長岡労働基準監督署管内では令和8年上半期（1月～6月）に労働災害が239件発生しました（速報値）。これは前年同期比**1.4倍**の件数であり、憂慮すべき事態となっています。

また、事故の型としては「転倒」「墜落・転落（2メートル未満）」が合わせて全災害の48.1%（115件）を占めるなど身近な場所での災害が多く発生しています。

事業主や労働者、その他の関係者の皆様に置かれましては身の回りの労働災害防止対策を改めて確認し、これまで以上に危機感を持って取組をすすめていただくようお願いします。



ここに注意！



「可動な障害物」 × 「転倒(つまづき)」

対策

- ・通路、作業スペースは十分な広さ、明るさを確保
- ・撤去困難な障害物は見える化(車止めを蛍光塗装する等)
- ・死角の解消(曲がり角にミラーを設置する等)



「脚立・踏み台」 × 「墜落・転落」

対策

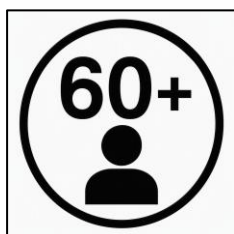
- ・脚立・踏み台は安定した場所に設置する
- ・無理な姿勢とならないよう十分な作業床を確保する
- ・作業方法や用具等を事前に検討し、作業計画を作成する



「トラック」 × 「墜落・転落」

対策

- ・荷台への昇り降りは適切な昇降設備を使用する
- ・荷台上での後ずさり厳禁
- ・必要に応じて墜落制止用器具(安全帯)を使用する



「高齢者(60歳以上)」 × 「転倒」「墜落・転落」

対策

- ・エイジフレンドリー指針に基づいて対策を講じる
- ・各労働者の健康状態・体力の状況を確認する
確認した状況を踏まえて環境整備や業務指示を行う

新潟労働局Webサイト(災害統計、各種お知らせ)

(災害統計は [ホーム](#) > [ニュース&トピックス](#) > [監督署からのお知らせ](#))

https://jsite.mhlw.go.jp/niigata-roudoukyoku/top_page.html



職場のあんぜんサイト(災害事例、各種教材)

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>